



土器パズルに挑戦。この
かけらはどこかな？

カイコって、なんで
とばないの？



特集

ディスカバリールーム

Discovery Room

「世界の子どもたち フィン
ランド」コーナーの魚
釣りも、人気があるよ。



標本のカブトムシを写真中。
投稿すれば貼りだしてもら
えるよ。



ディスカバリールームの展示はすべてさ
わって体験できるよ。でも、ただ「さわ
る」だけでなく、「参加する」部屋なんだ。
つまり、みんながやりたい、面白そうと感
じて、自分から展示に関わる部屋 それが
ディスカバリールームだよ。

琵琶湖博物館に、子どもから大人ま
でだれでも楽しめる無料の展示空間が
あるのをご存知ですか？
20個近い展示物がすべてさわって体
験でき、しかも展示はほとんど変わっ
ていきます。
技術が発達したおかげで私たちは一
年中好きな野菜が食べられたり、快適
な環境の中で生活できるようになりま
した。しかし、魚でも野菜でも一番お
いしい時期「旬」があり、日本人は
昔からそんな四季を楽しんできました。
ディスカバリールームではそんな「季
節感」をみんなに感じてもらえるよう
な工夫を凝らしています。

季節によって変わる展示

ナマズやコイのいる大小の水槽を洗う
のもスタッフの仕事です



ディスカバリールーム担当
磯野なつ子・堀田桃子

ディスカバリールームでは「これ知
ってる」「見たことあるで」というみ
んなの声をよく聞きます。
でも、普段家の近くで何気なく見過
ごしているものを虫めがねで観察し
てみると面白いですね。触ってみると
考えていた感触とはちがったり、カエ
ルやバッタがどんなウンコをするかわ
かったり、新しい発見があるかもしれ
ません。
また、身近な暮らしを昔の道具や食
品レプリカを使いながら、今と昔を比
較することもできます。
ディスカバリールームには身近なも

身近なものから世界へ



2月は「節分」。鬼の面を作ったよ。

南米の楽器 レイン・ス
ティックは、ゆらせば雨
の音がするよ。



懐かしい感じがしました。

「おばあちゃんの台所」は昔の
雰囲気があり、ホッとします。

むずかしくて
面白いんだよ。

「骨格を組み立てよう」ボックスで今
まで知らなかったことがわかったよ。





毛糸で絵を描くのは私のお気に入りの一つです。



恐竜と虫が大好き。「恐竜」や「化石」のボックスがぼくのお気に入りだよ。



「のぞいてみよう魚の世界」が私のお気に入りです。目の前を魚が泳いでいく姿にわくわくします。

ディスカバリールームのスタッフの部屋は展示室の奥、白いカーテンの向こうにあります。スタッフは展示室に来てくれるみんなが楽しく心地よい時間を過ごせるように、展示物の改良、製作、補修から、利用

ディスカバリールームの仕事



のだけでなく、世界のいろいろなものが展示してあります。例えば、「音のへや」はアジア、アフリカ、南米などの楽器が入れ替わって演奏できます。また、滋賀県と同様「湖と森の国」と言われるフィランドの展示ではフィランドの子どもたちの夏休みや冬休みの遊びを疑似体験することができます。

子どもの頃はここで
お皿を洗いました。



カイコのマユをお湯につけたら、糸がするする出てきたよ。

者との対応まで多様な仕事を行います。

実際にどんな風にスタッフが一日を過ごすのかみなさんにご紹介しましょう。朝8時半に出勤し、まず生き物の世話をします。季節ごとにいろいろな生きものを飼っているのです。水槽を洗ったり、エサをやったりします。特にカイコはよく食べるので、屋外にクワの葉を採りに行くのは大変な仕事です。毎朝夕、バケツ1杯のクワの葉をはしごに上って採ります。それがすむと展示物の状態を点検します。そして、平日は10時、週末は9時半にディスカバリールームが開室すると、利用者の対応をしたり、同時に展示物の更新や業者との打ち合わせをして一日を過ごします。

新しい展示



2004年から2005年にかけていくつかの新しい展示が出来上がりました。新しい展示はディスカバリーームのスタッフだけではなく、さまざまな人が関わって出来上がります。

「世界の子もたち フィンランド」では日本在住のフィンランド人、フィンランドの小学校の子どもたち、フィンランドへ留学している日本人学生が協力してくれました。また、「カブトムシのおはなし」ボックスは、デザイ

ぞつりはとっても
いい気持ち！



ザリガニになって、
魚とオタマジャクシ
をつかまえるのは楽しいよ。



ぼくもザリガニがお気に入り！

生き物大好き。ディスカバリーームには本物の生き物もいるよ。



昔のおもちゃは楽しいよ。



「動物のすみか」コーナー

ン学校の学生が創作絵本を作ってくれたのをきっかけに誕生しました。そして、「動物のすみか」は博物館に自主的に関わって活動を行う「はしかけ」さんが、イラストを新しく描いてくれました。

新しい展示はディスカバリーームに来てくれるみんなの知りたいこと、楽しいと思うことをもとに作っていきたくて考えています。「こんなことディスカバリーームでやりたいな、知りたいな」というものがあつたらぜひ、教えてください。ディスカバリーームは「さわる」だけではなく、みんなも仲間入りする「参加型」の展示室だということ覚えておいてください。どうぞこれからもディスカバリーームをよろしく願います！